



練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

平成29年度 第11号 平成30年3月14日

晴れ舞台

校長 古山 真樹

先週の合唱コンクールは、一年間を締めくくる行事にふさわしい感動の連続でした。特に3年生の心のこもった歌声は本校の伝統を引き継ぎさらに発展をさせ、後輩にすばらしい財産を残してくれました。

この合唱コンクールのよさは全員が舞台に立って、全校生徒一人一人が主役になれるところです。そして一年間じっくりと築きあげてきたクラスの絆、団結力を示すところにあります。だからこそやはりこの時期に行うことに意義があると思います。特に3年生にとっては、クラスの仲間との最後の思い出として、まさに心のこもった熱い思いがこみ上げる合唱となります。それが聞いている者の心を打ち、すばらしい感動となって涙を誘います。これが本校の合唱コンクールのすばらしさそして伝統といってよいでしょう。

さて、3年生にはもう一つ最後の晴れ舞台が待っています。もちろん卒業式です。卒業していく3年生だけが舞台に登り卒業証書を受け取ります。1・2年生は在校生として支える側です。主役と支える側の気持ちを一つにして、みんなですばらしい卒業式をつくりあげていきましょう。

今月の言葉

多謝

「たしゃ」と読みます。漢字から考えると、「多くのことに感謝する」と受け止められるかと思いますが、実は「深く感謝する」という意味だそうです。中国語で「謝謝」（シェイシェイ）は、ありがたいの意味だということはご存じでしょう。「多謝」は自分のために何かしてもらったとき、何かお世話になったときに感謝の気持ちを強く込めて使われるそうです。

さて、間もなく義務教育を終える3年生の皆さん、生まれて以来15年、君たちがいったいどれだけ多くの人にお世話になってきたかは十分わかっていることでしょう。直接出会った人たちばかりではなく、間接的に世話になった人は、その何十倍、何百倍もいることでしょう。例えば毎日の食事を考えてみましょう。買い物に行き、調理してくれるのは家の人でしょうが、それぞれの食材を生産した人、梱包した人、輸送した人、販売した人考えていくと、食材一つでもものすごい人数になります。改めて、感謝の気持ち、人と人とのつながりを感じることでしょ。

しかし、立場を変えて見ると逆も成り立ちます。私たちが生産した食材、私たちが販売した食材を買ってくれてありがたいということになります。即ち、感謝とはお互い様と言えるのです。親子関係もそうです。子は「私をここまで育ててくれてありがとう」の気持ちになりますが、親も子に対して「夢や幸福をありがとう」という感謝の気持ちになるものなのです。

これと同じことが開一中でも成立します。面倒を見てくれた先生方に君たちは感謝の念をもつことですが、先生方も君たちのがんばる姿にたくさんの感動をもらいました。それぞれの場面で素晴らしい力を発揮してくれた君たちに感謝です。

いよいよ卒業式です。お互いの感謝の気持ちを込めて心のこもった卒業式にしましょう。

平成２９年度 保護者アンケート 結果と分析

本年度も保護者アンケートにご協力をいただき誠にありがとうございました。特に今回は、これまでで一番の回収率であったことに感謝申し上げます。また様々なご意見を基に次年度の教育活動に生かしていきたいと思ひます。

H29	回収率 １年 127名(79. 9%) ２年 127名(73. 0%) ３年 136名(70. 8%) 不明(4名) 全体 394名(75. 0%)					
N o.	調 査 項 目	肯定評価		否定評価		わから ない
		そう思う	ある程度 そう思う	あまり思 わない	そう思 わない	
1	学校だより、学年だより、ホームページ等を通じて、 学校の様子を伝えている	53%	42%	4%	0%	1%
2	保護者会、学校公開、三者面談等を通じて、保護者 との共通理解に努めている	50%	44%	5%	1%	0%
3	めあてをもった分かりやすい授業を工夫している	15%	53%	9%	1%	22%
4	運動会、文化発表会、合唱コンクール等の行事を通 じて、生徒の力を引き出している	41%	49%	6%	1%	3%
5	職業調べ、職場体験、上級学校訪問を通じて、3年 間を見通した進路指導を行っている	39%	48%	6%	0%	7%
6	道徳の授業を中心に命の大切さや思いやり等の道 徳心を高めようと努めている	24%	51%	9%	1%	15%
7	挨拶や言葉遣い、規範意識を高める指導を行ってい る	27%	50%	13%	1%	9%
8	教育相談の充実を図り、いじめや不登校の未然防 止に努めている	19%	46%	16%	2%	17%
A	お子様は、楽しく学校生活を送っている	57%	36%	5%	1%	1%
B	お子様は、普段の授業や定期考査に意欲をもって取 り組んでいる	30%	48%	20%	2%	0%
C	お子様は、家庭学習の習慣が身に付いている	21%	39%	29%	11%	0%
D	お子様は、挨拶、言葉遣い、学校生活の約束事をし っかりと守っている	27%	58%	11%	3%	1%
E	お子様は、思いやりの心をもって人に接している	37%	57%	3%	1%	2%

アンケート項目について

アンケート項目の評価に関しては、昨年同様の高い肯定評価をいただきました。90%、80%以上の数値はたいへんうれしいことで、自信をもって、より一層の充実に努めてまいります。では今年度は項目8について考察したいと思います。

「8 教育相談の充実、いじめや不登校の未然防止」については、否定評価が18%、わからないが17%となっています。お子様が思春期に入ると、保護者の方々も様々な悩みや不安を抱えることだと思います。どうぞ遠慮なく担任、学年担当の教員にご相談をいただきたいと思います。その他に、教員には話しにくい内容に関しては、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員に直接ご相談いただけますので、ご連絡ください。また、いじめや不登校は思春期の生徒には誰でも起こりうるという認識のもと、学校としても注意深く観察をしておりますが、不安があればぜひご連絡ください。

また、この件につきましては生徒の個人情報という面があり、学校でどのような対応をしているのか、見えづらくなっている部分もあるかと思いますが、ご理解ください。

自由記述について (複数意見があった点についてお答えします)

3学期制になってもテストの回数が年4回では、評価に偏りがではないか。

3学期制とはいえ、1学期はゴールデンウィークがあり、その後は運動会に向けての練習が入り、2度の定期テストを行うには困難があります。ただし、教科によっては「連休明けテスト」を行うなどしております。また、評価に関しては、定期考査のみで行うわけではありません。むしろ日頃の提出物や宿題、レポート等がかなりの比率になる教科もありますし、実技教科は当然技能や作品の評価が中心になります。いずれにしても常日頃からの努力が大切です。

毎日の荷物が重たく、通学カバンについて見直しをしてほしい

大型ですっきりとした形の通学カバンですが、副教材・ワーク等の活用に伴い、毎日の荷物を手提げだけで持ってくるのは、体力のない1年生には厳しいのが実情かと思います。そこで、次年度からは、スクールバッグだけでは持ちにくいときはご家庭にあるデイパック等を補助カバンとして使用しても構いません。ただしあまり大型の物では狭い教室では机間巡視等の妨げになりますので、大きさは配慮いただきたいと思います。また、次年度以降、様子を見ながらさらに検討を加えていきたいと思っています。

学校公開への参加者が少なく、入りづらい雰囲気がある

学校公開に関しましては、区の規定で第2土曜日を公開することとなっています。また、第2土曜日は、行事等に振り替えず、通常の授業を行うこととなっています。本校では、その他に4月の保護者会時、入学説明会の日等を当てていますが、夏の冷房時、冬の暖房時はどうしても扉近くの生徒がドアを閉めてしまうことが多く、不都合をおかけしています。次年度は教員だけでなく生徒の意識も高めて参観しやすい雰囲気をつくってまいります。また、ご案内も早めに通知してまいります。

同窓会入会式を行いました。



3月13日(火)に同窓会会長の沖山さん、幹事長の小田原さんがお越しになり、3年生と「同窓会入会式」を行いました。3年代表の加藤剛史くんと村上愛佳さんが、「同窓会に入会します。よろしくお願いします。」とあいさつし、入会式を終えました。

次期同窓会幹事は、本校の第30期～35期の卒業生が担当すると伺いました。伝統ある本校の同窓会を支える一人として3年生も今後同窓生として活躍してください。

本校同窓会に感謝状を贈呈

本校開校70周年記念行事を開催するにあたり、同窓会より多大なるご協力をいただきました。昨年11月25日に記念式典および祝賀会を盛大に執り行うことができましたのも、日頃よりの同窓会のご協力があったことです。

本日の表彰式において、校長より同窓会会長の沖山さんに「感謝状」を贈呈し、学校から感謝の気持ちをお伝えしました。

沖山さんは、本校第19期卒業生です。沖山さんをはじめ、同窓生のみなさんは卒業してもずっと開進一中の生徒を支えてくださっています。大変ありがたいことです。



体育優良生徒および優良卒業生の表彰



■体育優良生徒の表彰

3年3組 松本 遼真

3年5組 佐藤 らら

体育・スポーツ活動に秀でた技術を有し、学習態度がよく、成績が優秀であり、他の生徒の模範となる生徒に対して公益財団法人東京都体育協会より表彰するものです。



■優良卒業生

3年3組 木下航太

3年4組 宮田紗和

技術や家庭科、実験や実習に熱心で積極的に創意工夫している者、卒業後の進路に目的をもって意欲的に取り組んでいる生徒に対して東京都産業教育振興会より表彰するものです。

PTAより記念品の贈呈

卒業式予行のあと、本校PTAの皆様を代表して、PTA役員木下様より3年生へ卒業記念品の贈呈がありました。3年生のみなさん、大切にしてくださいね。

記念品① 目覚まし時計

記念品② 多機能ボールペン

